

観桜会

2026年3月19日（木）より病棟デイルームにて開催

内科病棟では、ベッドのままで桜を楽しむことができますよう、室内にて『観桜会』を開催いたしました。より多くの患者様にご参加いただければと、桜の開花時期である3月下旬～4月末までのグループレクリエーションの時間帯を一部変更し、各デイルームにて実施。今回も五感を刺激するような様々な内容をご紹介いたしました。

まずは『さくら～名所名木を訪ねて』というDVDより、樹齢1000年を超える“日本の三大古木桜”をご紹介。“山高神代桜”“根尾谷淡墨桜”“三春滝桜”の美しい映像に合わせて、レクワーカーより『花』『埴生の宿』『丘を越えて』『蘇州夜曲』『チェリーブLOSSAM』『春よ、来い』をピアノにて生演奏いたしました。「どちらもキレイで、うっとりしちゃったわ。」という嬉しいご感想もいただき、目と耳のどちらにも、桜の美しさを感じられたようでした。続いて桜の葉がブレンドされた紅茶の茶葉を用いて、皆様に桜の香りをご紹介。「桜ってどんな香りだったか、思い出せないな。」とお話されていた方も「あれだ。桜餅だ。匂いだけで、春らしい気分になるね。」と笑顔をお見せくださいました。更に、観桜会の記念品として、折り紙ボランティアの福原春様にご寄贈いただいた、桜の折り紙モチーフや和柄の和紙を使用した菓子をプレゼント。デザインが全て異なり、「悩むわ。」と真剣なご表情でお選びになる方も。お気に入りの作品と記念写真撮影も行いました。



続きましては、大正琴という楽器をご紹介。桜の柄が描かれた美しい楽器にはどなたもご関心を寄せてくださいます。中にはお琴やギターのご経験がある方もおられ、実際に触れて音を出していただくことに挑戦くださいました。その後、ピアノ（こちらもレクワーカーが事前に演奏を録音したもの）に合わせ、大正琴にて『さくらさくら』を演奏しますと、会場を包む大正琴特有の凛とした音色に、瞬きも少なく、じっと見つめる方もいらっしゃいました。熱気が高まる中、皆様で『花』の歌唱を行い、最後はピアノによる森山直太郎の『さくら』の演奏をお聴きいただきお開きとなりました。